

獨占の制限と競争の永存（イリノイ教授著「モノポリ、アンド、トラスト」中の一章抄譯）

上山 辨太郎

古い時代には獨占がなかつたと思ふのは謬りである。獨占は決して進歩した時代の特産物でなく既に古くから存在し而かも獨占しようといふ欲念は殆んど人類の創生當初からその心の奥底に漂つてゐたものである。此事に關しては舊約全書以賽亞傳第五章第八節中の

「地球上ニ孤獨タルベキ場所ナキマデ家屋並耕作地ヲ聯合スルモノハ不幸ナリ」

といふ一齣が最もよく立證してゐる。然かし古い時代に於ける獨占は實現の可能性に乏しきものであつた。何故なれば其範圍が地方的であり、其規模が小であり而かも事業その物の固有性に基いて發生する場合よりも寧ろ法的作用に胚胎する場合が多かつたからである。産業革命後擴大したる産業區域が主として無競争的のものであつたことは事實である。然かし私達は茲で或種産業の大部分が獨占的區域に屬するといふような厄介な問題を取扱つたり更に競争は自滅しつゝあるか？ 産業界全體を通じてそうした傾向があるか？ といふ問題にも打つゝからなければならぬ。而して社會主義者と非社會主義者との區別も此一點に存する。自然的獨占と稱せらるゝ事業と其他の事業との間には一般に根本的差異がないと社會主義者は推定してゐる。

彼等は單に或方面の事業は其他の方面の事業に較べて急激なる發展を告げたり、又或事業は他の事業よりもはやく獨占的性質を帶ぶるものだと言つてゐる。若し此説が眞であるならば私達は自分達の産業的秩序を改造しなければならぬ譯だ。而して私の知る限りに於てはそうした産業的秩序の改造は結局社會主義の主張を是認することになるものである。然かし私はこの主張を是認しなければならぬといふ理由を見出さない。否、現在知り得る範圍に於ては、反對に、舊い競争的區域に新しい無競争的區域が附加されてゐること、農、工、商は其性質上依然として競争的であること、獨占的傾向が該種事業就中工業に起つた所でそれ等の事業が其性質上獨占となつたといふ理由にはならないといふことなどを信するものである。

アドルフ・ワグナー教授の説かるゝ如く製造家は競争よりも協アグリーメント商を好むものではあるが、然かし協商を好むといふことゝ、眞實であり生命あり而して永久的であるべき協商を實行することゝは、全く別異のものである。議會の一委員は「聯合コンベンションは競争に發芽したものの即競争の本然的發達であり、而して零落のドン底に沈むことから避くる爲めに競争者に殘されたる唯一の手段である」と報告してゐるが果して眞理を含んでゐるか怎ふか研究の餘地があるようだ。プールとトラストは夙くから發生してゐるが、今日では、もう、舊式となつて了つたので、他の形式のものが引續いて發生し來り、而して舊い會社にして新しい會社と結合したものゝあるのは事實である。然かし私達は競争の自滅に關する主題を取扱ふ前に、夙に注意を惹いてゐる左記諸事項を研究しなければならぬ。研究事項の一は大規模の事業即事業の集コンセンダーション積といふこと

ゝ獨占といふことゝが全く別異のものであつて獨占は大規模の事業以上の或ものを意味するといふことである。然かしこれ等の大規模事業……製造業……にして且獨占たるものがあるのは如何に説明すべきであらうか？ 如何して競争の理論と實際とを調和すべきであらうか？

普通の事業と自然的獨占との結合が獨占を説明し得るのは該の結合が獨占區域の外にある場合であるといふことは私が既に暗示して置いたところである。若し製造業が鐵道の恩恵を蒙るならば獨占となり得るかも知れないがそれは獨占的傾向を帶びたる自分の固有勢力に依つたものでなく獨占的鐵道の恩恵に基いたものである。尙此外關稅と或二、三の獨占との關係、自然的富源の地理的集積と或種獨占との關係に就ても同じように説明し得るものであつて結局私達は獨占に就て既に承認したことは少くとも製造業界に於ける獨占の大部分に適用することが可能なるものであると思ふのである。

獨占たるべき素質を有たない家畜業に於て、尙ほ獨占化せんとする傾向があるのもこの理によつて説明し得る譯である。其他砂糖トラストにせよ石油精製業にせよ獨占化すべき內在的勢力は何も有つてゐないといふことを知り得る。

私は曾てシトクワに滞在してゐた頃、工學士で發明家たる一人の天才的友人を得た。その人はシトクワに開かれた講習會に聽講生として來てゐた時分から、獨占とトラストに關する研究に興味を有ち而して凡ゆる事業を獨占的性質のものと競争的性質のものに分類することに就

て論じてゐた。私は此人から感嘆に價ひする書簡を幾度も頂いてゐるがその中から「凡ゆる事業は集積と集中の傾向があるからして結局獨占たらざるを得ない」といふ意味の議論を認めてある三通を次に引用することにする。

一八九五年六月七日

イリー教授貴下

私達はシトクワニ滞在してゐた頃獨占といふ問題に就て聊が研究したことがありますネ。私はその當時近世の産業はどれもこれも凡ゆる特殊の傾向（自然的獨占とか人爲的獨占とか云ふような場合に於ける如く）を超越して合併しようとする本然の傾向を有するものだと考へてゐました。所が此見解はその後に於ける私の見聞に依つて根強いものとなり而して私は只今ではそれに關する私の理論をあの當時よりもつと明確に發表し得るようになりましたから私は該問題に就て貴下に報道しようと思つてゐます。

文化程度の高い現在では大資本をうまく利用しさえすれば凡ゆる事業を獨占化し得るものだといふのが私の持論であります。

第一に獨占を組織する眞因がお互に競争するよりも獨占に依つた方が餘程有利であるといふ點に存することは高説の通りであります。若し人々に執つて獨占の方が有利だとすれば其發生は拒むことの出来ないものと謂ふべきであります。仍て文化程度の最も高い所では凡ゆる産業が報酬増加の事業に化しつゝありといふことを立證するのが私の任務となる譯であ

ります。

米國は今かうした時期に踏み入らうとしてゐる許りであつて、未だ産業の全部が此時期に到達して了つてはゐません。併かし私は敢て言ふ將來何等かの制限的勢力が起つて來ない限り凡ゆる産業が獨占化するであらうと。

大資本を擁する事業が小資本の生産者よりもより以上の決定利益を享くるに至つた特殊的勢力を左に解剖することゝします。

1. 大量の購買が單價を割安ならしむることは殆んど商業上の通則であること。此法則は直ちに小資本の生産者を不利益の地位に立たしむるものである。何故なれば大資本を有する同業者は原料品や支給品の全部を割安で仕入るゝことが可能なる爲め其製品を廉價で販賣しても損失を招かないからであります。此方法に依つて大製造家の享くる主なる利益の一は鐵道貨物運賃の低率といふことであつて此利益は私設鐵道會社の不公平なる差別待遇によりて不當に増加されたことがあります。尙ほ國有鐵道に在りても小口扱と貸切扱との兩者に同一率の運賃を課せない限り該種の利益を存することゝなる譯です。

2. 生産高の大なる程固定費の生産原價に對するパーセンテージは減少するものであるが其固定費が管理、技術等に必要なる人件費である場合には殊に著しいこと。大會社は人材を招聘することが容易であるから該種の利益を享るものであります。

3. 富裕なる會社は其設備の最大能率を保持する上に必要な資金を充分に投下することが可能

ること。因に該種の經費は發明の進歩とか高價なる機械の使用とかに依つて絶えず嵩むものであります。

4. 富裕なる會社は多額の資金を所有するから借入資本に依つて事業を經營する心配なきこと此點は恐慌などに逢着した場合に大變強味を有することゝなります。又富裕であれば其日暮しの營業をなす必要がないのみならず耐久力を有するからして市況の好轉を待つことが可能です。

5. 大資本は時に市場の買占を行ひ得ること。該買占は市價の高騰に伴れて迅速に其生産を増加し得る場合には非常に危険なことであるが、然かし文化程度の高い社會に需要されてゐる商品の中には、其供給が自然的に制限さるゝものとか、又は舊式で失費の多い生産方法による生産に係るものがある、而して該種の商品は慥かに騰貴しつゝありと雖も、相當の資本を有つて生産者と長期の契約を結ぶに於ては、安全に買占を行ふことが可能ようと思はれます。因に該種に屬する商品は「インディア、ラッバー」「ガタ、バーチア」「黃楊、象牙、鯨骨、白金、其他の稀少性の礦物、並減滅しそうな凡ての動植物等であります。ブラジルのバラには夙にラバー商を支配する購買トラストとか、ブルーなどがあります。私は白金トラストの有無を知らないが、其市價は最近急激なる騰貴を演じつゝあり、又數年前一封度五拾仙であつた鯨骨が、目下一封度六弗に騰貴してゐます。

その他專買特許の獨占に依つて起る買占なるものがありますが大なる資本さへあれば最高

價を拂つても其價值ある特許を買収することも可能なり又高い給料を支拂つて傑出した人材を招聘し得る譯であります。

前記の諸勢力は競争の劇しい場面では常に小生産者を驅逐するものであります。次に攻究しなければならぬのは一旦獨占を形成した曉には此等の諸勢力が更に新獨占の組織を呼び且つ既成の獨占を強力にするといふ點であります。

6. 獨占は競争に依つて生ずる多くの浪費を節約し得ること。

a. 設備、在庫品、小賣店等を二重にする爲め用ひられた冗費を省き得ること

b. 競争上に備ふる註文取集人を置く必要なきこと。

c. 競争上必要なる莫大の廣告費を節約し得ること。

d. 華客に對して贈物をする必要がないこと。因に亞米利加煙草會社（シガレット、トラス）は合同以來シガレットの繪を與ふる必要がなくなつたので、一ケ年二拾五萬弗を節約し得たといはれてゐます。

e. 競争の劇甚なる場合には、不健全な買手と信用取引を行つて損失を招くことが往々あるが、獨占は現金取引に依るが故にかゝる憂がなきこと。

7. 各會社が同一種類の機械に就て別種の專賣特許を有つてゐる場合に合同が行はるゝと、凡ての改良が合し一個の立派な機械を完成して、其關係者一同に大なる利益を齎らすは勿論延て一般公衆をも其恩典に浴せしむること。

8. 完全に近い獨占が出現すれば、市場に於ける消費額を豫想し得るが故に、生産上多大の安定を得其結果冗費の節約となること。

9. 獨占は原料品の主要消費者たる立場に在る中、其原料品の市價引下に付て大なる勢力を揮ひ得ること。

10 合同しようとするに至る大なる理由は獨占が高値で販賣し得る能力を有する點にあること
仍て劇しい競争の結果、商品の市價が生産費以下まで引下げられて了つた場合にはブールとかトラストとかを形成させる誘引力が強くなるものであります。

合同を助成する上に於て、避け能はざる勢力は、右の十勢力から形成さるゝものであるが、併かし其結果は即時に發生するものではありません。現在のトラストも、他の一般經濟上の諸制度と同様に、漸進的に發展し來つたものであります。今日に於ても尙ほトラストの形成を阻止しようとする強い勢力がありますから、以下それを檢べて見ようと思ひます。

1. 經濟的軋轢と從來の慣習による民衆の自然的惰性。

2. トラストが最近の發達に係る爲め、多數の實業家が未だ其長所を理解してゐないこと。

3. 事業經營上の自尊心。多數の人々はトラストに参加するよりも單獨經營主であることを希ふであらう、よし、トラストに参加することが單獨經營に比し大なる收益がありとするも併かし競争が劇甚である場合には往々優勢なるトラストの勝利に飯し單獨經營者はトラストと結合することを餘儀なくさるゝかさもなければ、事業界より驅逐されるような羽目に陥

ることがあります。

4. 營業上の對時による相互間の不信任。トラストは一般に其事業に従事する大多數の人々が一致するに非れば成功し得ないものであつて、一致を缺いた爲めに、トラストが失敗したことはまゝあります。

5. 誤つたる原則の下に、組織されたトラストの失敗。この事は人々をして一寸トラスト組織を躊躇させるものであります。トラストは株主を瞞着する目的で組織する場合が往々ある或鐵道に起つたことのあるのもその一例であります。トラスト組織者は樂觀し過ぎることが時々あつて、その爲めに競争會社を買収するに方り過當の對價を支拂ひ、結局此膨脹資本に對し、配當し得ないようなことゝなるものです。又往々或ひは不充分なる資本金を以て或は有力なる金融業の後援なくして、トラスト組織を企つることがありますが、此等の企畫は當然失敗に終る性質のものであります。

6. 管理困難。此等の大會社に付ては管理に困ると云ふ聲を聞くが、正當に而して正直に組織管理するに於ては大工業會社が大鐵道會社より管理の困難であるべき理由は一もあり得ない筈です。眞のトラストが敏捷と氣力を以て自己の利益に注意するならば、何人もトラストを承認すべき筈であります。

右の如き防遏的威力が存在するに拘はらず、合同が結局出現するものだといふことは近世産業組織の進化上に明示されてゐます。其歴史は六期に分割され得るが併かし、或種の産業が

他に比し迅速なる進展を告ぐることがあるからして、右六期の全部が同一社會に共存し得るといふことを留意しなければなりません。

第一期。多くの小生産者が、各自競争してゐる時代であつて、百年以前に於ては世界大多數の産業がこうした状態に置かれてゐました。現代に於ける農業の大部分は今尚ほ此姿を呈してゐる、而して此時代の適例は古の村落に於ける肉屋であります。

第二期。各産業が稍大なる資本を要する時期であつて、此時期に於ては工場で大規模の生産が行はるゝにより、生産者の數は減少してゐても、産額は非常に増加してゐます。各會社が廣大なる市場で競争するからして其競争は愈劇しくなります、而して此時期の適例はよく設備されたる小屠獸場であります。

第三期。産業界が十個内外の巨大なる會社の手に收めらるゝ時期であつて、競争は産業的戰爭化する程の激烈を極め、而して各社は到る所で自己以外の凡てを對手として競争するが故に、物價は死滅的慘落を演じ、此等の大會社に於ては生産品は彌々増加して生産過剰が不斷の叫となるものであります。數年前に於けるシカゴのアーモル大屠獸會社が此時代の好適例とも謂ふべきものでせう。

第四期。此時期に這入つて始めて競争は損失を招くものであり、合同は強味を有するものであるといふ感が製造家達の腦裡に漂つて參りました。合同しようとする場合、第一に企畫さるゝのはプールであるが、此言葉は生産制限の下に市價を引上げ、其利益を參加者一

同に分配することを意味するものであります。併かし、其プールは左記三理由によつて不安定なる状態に置かれるのが普通であります。

a. 第一にプール加盟者は、依然として各自の事業を支配するが故に、能ふ限り多量を賣却することが自己の利益となる譯であります。従つて自己に割當てられた數量より多くを販賣しようとして、絶えずプールの定めた市價を暗々裡に切り崩さうとする恐れがあるのみならず、各員は其割當額に満足せず、自己の持分がもつと多かるべき筈だと考ふるものであります。かゝる次第であるから、毎會々々内輪揉の絶えまなく、結局プールの分裂を招く場合が尠くありません。

b. 生産が一經營の下に行はるゝのでないプールは、合同に依る經濟上の利益を受けないこととなります。仍でプールの利益は廉價で生産するといふ點に在らずして、製造家が各自の貨物に對して買占聯合を創立したといふ事實に存するものであります。この事が他の買占の場合に於けると同様に、外部の生産を刺戟して直ちに怖るべき競争者をつくる基となるものであります。

c. プールの物價吊上げは大騒動を惹起し立法部をしてトラスト禁止法案の通過を急がせることとなりますが、此トラスト禁止法は其實プール禁止法なるが故に、プールの困難は一層加重される譯であります。該法律は空文となるのが普通であるが、愈々勵行さるべき特殊の場合には、其防止せんとする弊害を誇張し、弱い而して不堅實なるプールを解

散させて了ふことがあります。此共同の敵に出會つて始めてフル組織者は從來の個人的嫉妬を棄てるものであります。こうして種々の工場を其儘買収して、株式會社たる眞正トラストが形成さるゝ譯であります。眞正なるトラストは、現在生産手段として認めらるゝ私有財産法には少しも牴觸しないものであるに不拘、無理にトラスト禁止法を適用しようとするればその私有財産法を侵犯することになりはしないか。

第五期。本期の著しい特質、即ちトラストの特質は、以上列舉した通りに生産的合同に基いて大利益を受くることではありますが、眞のトラスト、即私の所謂適當と確實とを以て設立されたトラストは、現在の社會狀態では避くることの出来ないものであります。トラストは獨占的価格を以て販賣し得るのみならず、其價格の高いことの爲めに競争者が出現しても廉價に生産し得べき設備を有つが故に、最後の勝利を獲る譯であります。又一般公衆もかの鐵道に競争が起つた時のように結局無益なる競争的設備の對價を負担することゝなるものであります。

第六期。最初の發起人がトラストで巨富をこしらへた揚句、其株式に混水して普通利を生むに過ぎない位の株式を高價で賣るのは此時期であります。而して此等の株式は他の株式と同様に、市場に流れて貯蓄を目的とする一般投資者の手に渡ることゝなります。爾後の平穩なる歴史は大鐵道のそれに似てゐます。

シカゴに於ける所謂四大家畜會社の合同は、後の三期を經過したものであります。アルセル

氏は他の或三會社と結合してプールを組織したが、該プールは非常に強固で而かも多大の生産的特徴を有つてゐるので、トラストと何等異るところがありませんでした。該プールが最終に怎ふなつたかはよく判らないが、私の考へでは左の通りであらうと思はれます。

最近のイリノイ、トラスト禁止法が制定された時に該プールはトラストに變つて了つて而して其株式は目下紐育株式取引所で W. V. Bet. Co. として上場されてゐる。

引例とするに足るべきトラストは多いのに、其中から私が特に屠獸業を選んだのは、該業が不思議にも自然的獨占や、人爲的獨占の影響を受けてゐなかつたからであります。屠獸業は特許獨占ではありません。米國の家畜業は關稅や内地消費税の保護を受けてゐる譯でもなければ、又鐵道からも何等特別の利益を蒙つてゐません。尤も鐵道利用上一般大荷主が小荷主以上に收むる程度の利益には均霑してゐますが。該獨占は自然的勢力の作用に依つて世界で最も劇しい家畜競争の眞つ只中で成育したものであります。

獨占の組織は明かに抵抗の最も弱い方向を指して進むものであるから、若し人々が或種の事業に付て、人爲的獨占か、又は自然的獨占の補助を受くるとすれば、其等の事業は眞つ先に合同さるゝのが普通であらうと思ひます。以上の理論にして正しからば、下の結論は當然導かれ得るものであります。自然的獨占は第一に合同さるべきものであるからして之と他の事業との間には主として其到達せる發達程度の相違換言すれば歴史的差異が存するものであります、勿論自然的獨占に附隨する或種の特質は之を認めますが。又主なる類似點は双方の何

れの立場に於ても合同する方が其持主に對してより多き利益を齎すといふ事實に存するものであります。最も後れて合同さるべき事業は、多分現在發展の初期に在る種類のもの、例へば農業の如きものでありませう。現在農業が主として第一期の状態にあることは、争はれないが、然かし該事業も發明の進歩に隨つて、漸次製造業の特質を具有するようになるものであります。單に肥料の大量購買者が、最低價格見當の所で仕入れ得る點のみに就て考へても判りますように、合同の波は進み進んで既に農業の地點まで押し寄せてゐます。家畜の飼養も、バター並チーズの製造も、ミルク製造もカリフォルニアに於ける梅の栽培も、悉く部分的合同を體驗してゐます。終りに米國で最新式耕作法を探つてゐるカリフォルニアに於ける小麥栽培費を聞くに

一、〇〇〇エーカーの農園……………每百封度九二仙半

五〇、〇〇〇エーカーの農園……………同 四〇仙―

このことであります。若し此報告にして正しからば農業は少くともカリフォルニアの農業だけは夙に報酬増加の事業に屬するものだと言ひ得る譯です。只今から此理論を實驗に照して吟味することゝします。今世の事業には、或種事業の特質を無視してまで合同しようとする一般的傾向があるか？ 其實際に就て申述べて見ましよう。

因に此書簡を認めた人は、此箇所で米國に於ける五十二のトラストを表示してゐる。而して該トラストは資本總計は五億弗に達し、多種の事業を支配してゐる。

私達は今やつとトラストの時代に這入らうとしてゐる所であります。上表に示したトラストの八二％は、一八八八年以降に組織されたものであるが、本表に依つてもトラストが如何に廣く分布してゐるかを窺ひ知ることが可能ませう。米國に保護關稅に據る砂糖トラストがあるように、自由貿易の英國にも塩トラストがあります。内地消費稅の補助を受けてゐるウキスキー、トラストあると同時に、綿實油トラストがあります。鐵道の後援を有するものにはスタンダード石油トラストがあるのみならず、其他セルロイドトラストも亦右石油トラスト程の恩典には浴してゐないが、その一であります。專賣特許に因るものには、新法の特許を受けた瓦斯裝置トラストがあり、佛蘭西革命時代に特許されたし、ブランドの舊ソーダ方法を使用する英國化學同盟があります。個々の場合に起る凡ゆる現象の裏面には早晩近世産業の全部を合同させようとする一大潛流が縦貫して居ます

一八九二年七月十六日

先生貴下

トラストに就ては屢に通信して置きましたが、其後若干の新らしい材料を掴み得ましたから、それを補遺としてあの手紙に附加したいと思ひます。

トラストの内情が關稅論争によつて曝露されたが、紐育ワールド紙は「百關稅トラスト表」

を公表してゐます。其中の一部はブルであつて私が示してゐるあの第一表中に既に掲載済のものも若干あります。で私はその残りのものだけを追加表に収録することゝしました。

トラストを産業進化上の自然的階段と信する私は、其成立に關する全責任を關税に飯せようとするワールド氏の意見には賛意を表し得ません。但シマツキンレー法案の通過に隨伴して起つたあのトラスト形成の潮流に徴し、同法が非常な勢を以てトラスト形成を促進させた事實あることは之を認めますが。英國に於けるトラストが多數に上つてゐることが何よりの證據であります。で、私はトリビュン氏が、自衛上自由貿易國たる英國に於けるトラスト表を公表するであらうと期待してゐます。

私は壁紙トラストが合同してから競争用に使用した三百の廣告人夫を解雇して一ケ年五拾萬弗を節約し得たといふことを報道します。

新にナショナル、シガレット、アンド、タバコ會社がアメリカ、タバコ會社と競争する爲めに、二百五拾萬弗の資本金を以て設立されました、多分西海岸のものとは別異のものでせう。

一八九五年十一月十六日

先生貴下

前信以來私はトラストに關する他の諸點に氣附きました。それはエツチ、シート、アダムス

獨占の制限と競争の永存

教授の所謂「第一類の産業」に關するもの（工業政策と國家との關係に就て 五五頁）であります。該種産業の一部分たる製造業に就ては、前信に述べて置いた通りであるが、其他の部分即ち小賣業に就ては、製造業に見るような、殆んど純然たる物理的勢力とも謂ふべきものは、大分其趣を異にした一新勢力が働いてゐることを看取しました。此新勢力といふのは、最終消費者各自の自由意思とか、個人的趣味などであります。

小賣商は消費者の入用の品に付て極、細々したもので準備してゐなければなりません。消費者の方でも大抵のところ辛抱しようが、然かし齒楊子の買手に同じ用を辨ずるといつて、髮梳を賣ることは可能ない相談です。で、小賣業の成功は需要の質及量に付て適確なる見込をなし得る經營能力に因るものだといつてもいゝ位であります。

需要の質に就て。過去の需要は一般に知られてゐるが、將來の需要となると怎んな物が人氣に投するかを微妙に感知しなければならぬから、そうした能力が商店の仕入人に必要なことゝなります。該能力は、事實上固定費と同一のものであつて、千碼の絹見本を選択する場合でも、十碼のものを取扱ふような工合にやす々と一人で處理して了ふことが可能です。小商店でも、質の點では同一の立場にあるからして、高い俸給を支拂つて而してそれを小量の品に分擔させなければなりません。質に關する他の要素は、提供すべき種類の問題であるが、他の事業にして等しい限り、消費者は大きな商店に行つて澤山の種類の中から選擇して買ふ方が時間の節約になる譯であります。此事は澤山の種類を全部一ヶ所に蒐めたる大商店

に有利な所であります。西部地方の多數の人々は、其必要な物品の殆んど全部をシカゴのモンガメリー、ワード會社から購入してゐるが、之れ同會社には何品でも澤山に揃つてゐるからであります。

需要の量に就て。第一に需要の總量に付て考察すると、何品に限らず略ぼ一定した需要時間とか季節とかいあります。例へば地質厚い外套が普通春よりも秋によく賣れるとか、水の消費高が日曜日よりも月曜日の方が多いかいふような工合に。第二に凡ての需要は一時的であつて、流行は變遷し、質は改良されて行くから、或一商品の需要は大體に於て發生、發達、旺盛、減退、死滅の道程を辿るものであります。

以上の二要素は不變なる供給の潮流によつて調和し得るものであるが其供給は毎日使用し盡されて了ふから棚上げ商品は只通過商品たるに過ぎないものである従つて需要量の適確なる豫想が管理者の頭腦に信頼されねばならぬことになります。

此等の一定した二要素がある上に、需要上に殆んど附き物たる機會變化、即ち移り氣があるから、一日目は髮梳の賣行が多く、二日目には齒楊子が澤山賣れ、三日目には何品も賣れないと云ふ工合になるものであります。華客が來店したときに、いつも品切れさして置くことは商人として可能な相談であるから、商人はこの需要上の變化を察して相當の在荷を準備して置かなければならないものであります。とは云へ、この眞の機會變化見込額に付て、私達は全く無智ではあるまいか？ 或一場合には、全く無智であるが、他の多くの場合に於

ては、そうでない。數學上の概然論の教ふる所によると、基礎的中數の周圍にある個々の變化の數が大なれば大なる程、其の中數に不變の價值を與ふべき變化の傾向は大なるものであつて、中數の上にあるものと下にあるものとだんだん中數に近くようになるべき傾向を有するとのことであります。此理論に従へば、變化する數の平均は變化總數の平方根だけ反對に變化する點に於て眞の基礎的中數と相違するものであります。所謂基礎的中數といふのは、上記變化のうねりであつて、日々の一時的中數の豫想的差違は在庫品から供給しなければなりません。で、一定の商人は一定量の在庫品を準備して置く必要がある譯です。所が、同一品を六十四だけ販賣する他の商人は、怎ふかといふに、商品の $\sqrt[64]{x}$ 即八倍だけ準備しなければならぬことになるが、併かし其在庫品に關する利子、其他の經費は全量たる六十四の商品に割當て、負擔させるから、商品一個當りの費用は僅かに $\frac{1}{8}$ となります。之れ聽て大商店が非常に有利である所以であります。尙ほ之を他面から説くに、茲に商人が六十四人ありとすれば、彼等は名々一だけの在庫品を必要とするから總計では六十四の在庫品を準備することになるが若し彼等が合併すれば、其在庫品は僅かに八で事足りるので、殘餘の五十六品に注ぎ込む資本は他の方面の投資用に振向け得ることとなります。

或種商品の小賣店が、悉く市の一區域に集つて、各自他の同業者が供給し得ざるその時華客を捉へんとしてゐるのもこうした勢力の無意識的働きに因るものであります。

大商店に便益を與ふる此等の勢は、終に小賣店の合同を呼び、延いて他種産業にも同様の

影響を及ぼすものであります。今日大都市といふ大都市には非常に澤山の小賣商があります
が、彼等に「何が一番恐いか」と問ふと「大商店だ」と答へるに決つてゐます。(未完)